

1 学年 SSH 講演会 (12 月 16 日)

『探究活動に関する講演』

東京理科大学理学部第一物理学科教授の川村康文先生をお招きし、1 年生向けに講演をしていただきました。「SDG s 地球環境問題を解決するための科学実験の要点」という題で、先生のご専門である「風力発電、太陽光発電」の観点からお話をしてくださいました。

まず日本における発電の歴史、推移の説明の次に、「風力発電や太陽光発電は環境に優しいエネルギーだと言われるけれど、振動の問題や発電パネルに使用されている材料による環境汚染の可能性を考えた時、科学には善と悪の両面がある」ことを指摘されました。さらに近年の温暖化の影響に触れて、「科学で日本の四季やそれにまつわる文化を守りたい」とおっしゃっていた言葉はたいへん心に残りました。そして「SDG s にどのような形で参加できるか」という問題に、「白熱電球を LED に変えれば、発熱を抑え、室内の温度設定を下げるができる。それだけで SDG s に参加したことになる」と、わかりやすい提案をしてくださいました。「太陽電池」や「風力発電」の仕組みや改良型、普及状況等についてもお話してくださいました。

川村先生の信念が探究につながっていたり、「科学」が研究室から飛び出して、多くの民間の方達と社会貢献を実現していたりすることがわかり、これから本格的に探究活動を始めていく 1 年生にとって大いに参考になるお話でした。

